



新年あけましておめでとうございます。年末年始のお休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。今年も子どもたちが安心安全に過ごせるよう、職員一同努めて参ります。2025年もどうぞよろしくお願いたします。

かぜのウイルスが いやがるのはどんなこと

すききらいしないでなんでも食べる



ごろごろしないで運動する

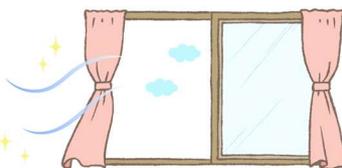


夜ふかししないで早寝早起きをする



手洗い・うがいをしっかりする

こまめに部屋の空気を入れかえる



ウイルスがいやがることをたくさんやって、かぜを予防しよう!



家族 みんなで ガラガラうがい練習してみよう



油断できないかぜ

かぜは、年齢が低いほど、中耳炎や気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管の弱いお子さんの場合は、のどがゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。早めに病院を受診しましょう。

【冬のかぜによくある特徴】

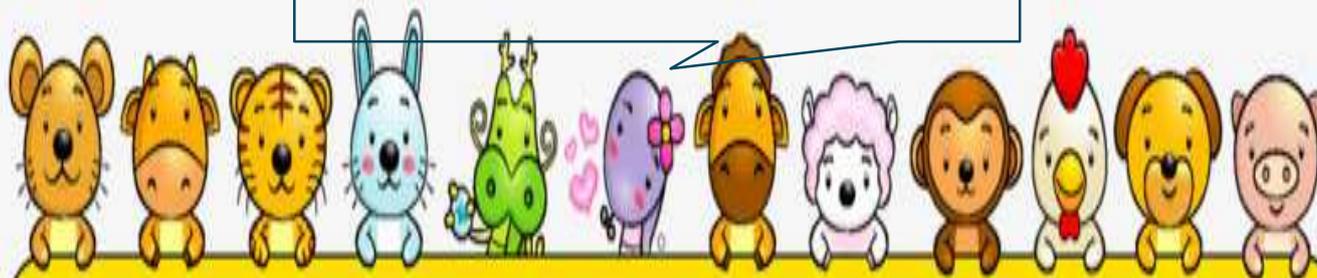
- ① せき・鼻水・のどの炎症・発熱
 - ➡ 呼吸器系にくるかぜ
- ② 下痢・嘔吐
 - ➡ 消化器系にくるかぜ
- ③ 両方の症状
 - ➡ インフルエンザの疑い

- ① エアーうがい
正面を向いて上を向いて、最後はペッ
- ② 正面を向いてうがい
水を含んで正面を向いて「アー」、ペッ
- ③ 上を向いてうがい
最後は水を含んで徐々に上を向いていく



【教えるときのポイント💡】
 少しでも出来たら褒める お手本を見せる
 スマールステップアップ
 練習はうまくできたところで終わる

2025年は『巳（へび）年』



「巳（へび）年」の由来

その昔、白へびは神様の使いであり、弁財天の化身として信仰されていました。また、脱皮を繰り返すこと・しばらく食べなくても生きていける・多少傷があっても生きられることなどから『強い生命力・豊穡』の象徴と考えられています。

「巳」という漢字には植物の種子が誕生するなどの意味があり、巳年は「新しい時代が始まる起点となる年」と考えられています。また、「巳」を「実」とかけて、いままで取り組んでいた事が実を結ぶ年とも言われています。

2025年が希望にあふれた変化の年となるように、童心会の訓えの学びの基盤（五感の刺激・意識・serve&return）である「興味・関心・好奇心」を使って、元気いっぱいになにかを始めてみるのもいいかもしれないですね。

【新春のおよろこびを申し上げます】 ～日に新（あら）た 日々に新（あたら）し～

今年もメールの“新年のご挨拶”の中で言葉をお届けさせていただきました。

“新”という年始の祝賀の言葉です。

今日までの“新（あら）たとは：改めてはじまること”

今日からの“新（あたら）しとは：今までになかった新しいこと”
という意味があるそうです。

私は今日まで東洋思想の四書五経（大学伝二章）の訓え「日に新たに、日々に新たに」という言葉の意味として使っていました。今年“新（あたら）し”という意味で皆さまにお伝えしようかと本部事務長にお話ししたところ、次のように言われました。（社福）童心会の方向性と理事長の生き方・考え方は「新（あら）たと新（あたら）しが一つになった hybrid（ハイブリッド混成）」だから二つの意味を一つにした考え方・方針が良いのではないかとアドバイスされ決めました。

今年の年賀状のご挨拶の言葉の意味は次のようになりました。

【新春のおよろこびを申し上げます】
～日に新（あら）た 日々に新（あたら）し～
「私たちの毎日の暮らしは、改めて始まることでありますが、
日々の重なる時代の新（あたら）し事柄は進化するものと心得るべし」
を考えさせられました。

私たちは皆さまのお幸せを願い祈り続けています。
お幸せに!! (Well-being 幸せになろうね！幸せになろうよ！)



理事長 中山勲 拝